

沢田穰治 contrabass

神子直之 piano

橋本学 drums

2026 06月06日 (土)

開場 12:30 afternoon live

開演 13:00

(2ステージ入替無) (1drink=600)

MC=3700+2drinks order

CAFE **BEULMANS**

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail : info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、  
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を  
ご記載下さい。



## 神子直之

クラシックピアノの研鑽を経て、大学入学と同時にジャズを始める。嶋津健一氏、安西信一氏(故人)、山口友生氏などの身近な環境で、ジャズに関する見識を深めた。2000年頃より茨城県内のジャズスポットで定期的に演奏を行う一方で、都内においても演奏を行う。2007年より草津市に在住、京都のライブハウスに出演するようになり現在に至る。演奏する一方、Kenny Wheeler 研究として音源の収集とそのリスト作成を行ってきた。その成果としては、神子が作成し Wheeler 本人に手渡した incomplete discography が Wheeler の遺品から見付かり、先年発行された Kenny Wheeler の伝記 "Song For Someone" の基礎資料として引用されたことが挙げられる。近年は関西において活動の幅を広げ、Kenny Wheeler "Sweet Time Suite" 全曲の日本初演でのピアノパートや、トランペット/フリージャーグホルンと女性ボーカルをフィーチャーした Wheeler レパートリーコンボを率いる等の活動を行っている。

## 沢田穰治

ChoroClub のベーシストでありながら、様々な楽器を愉しむ。その活動は幅広く、ジャンルにとらわれない活動を続けながら様々なアーティストのプロデュースや映画、アニメ、ドラマなどの音楽制作なども多い。近年の作品にはアントニオ・カルロス・ジョビンの作品集「Canta Jobim」、2011年の震災を受け止めて音楽として昇華した「NO NUKES JAZZ ORCHESTRA」、「武満徹ソングブック」等、最近ではジャズギタリスト馬場孝喜「Gray Zone」、日本初録音となるジョージ・クラム作曲『マクロコスモス II』や畠山美由紀「歌で逢いましょう」などをプロデュース。アレンジャーとして今までおおたか静流、川本真琴、フィッシュマンズ、忌野清志郎、太田裕美、バッファロー・ドーター、上間綾乃、松下奈緒などほか、多数手がける。活動においてはアルゼンチンやブラジルの音楽家からの信頼もあつく、レコーディングやセッションを重ねている。直近でのリリースでは高木正勝、渡辺亮、馬場孝喜など京都ゆかりの音楽家と共に制作した「Closeness Ensemble of Kyoto / WaBaSaTa」が song x jazz からリリース。

## 橋本学

1976年生まれ。大学入学後モダンジャズ研究会にてジャズ・フュージョン活動を開始、卒業後プロ活動へ。2001年横浜ジャズプロムナード・コンペティションで参加バンドがグランプリ受賞。2005年より Trio Zero(伊藤志宏 piano、織原良次 fretless-bass)を主宰、作・編曲を手がける。2010年台湾・台中 Jazz Festival にて公演。2014年11月スイスにて4本の公演に参加。2012年2月ミュージカル「ラブ・イズ・ミラクル」へ楽曲提供。2016年長野県富士見町へ移住、中部甲信地方発信の活動を開始。以後、中島仁 trio(長野)・名雪祥代 quartet(東北)・溝口恵美子 group(関西)といった地域発信のユニットに参加、それぞれレコーディングもする。ジャズのみならずポップス・ラテン・ブラジル・アラブ音楽・古楽など、ドラム以外のパーカッションも多用して節操なく活動。2019年再度台湾公演。2020年 Trio Zero 1st album「Energetic Zero」リリース。2023年ピアニスト福井真菜とのデュオ Manna&Mana「Metamorphose」をリリース。